

授業科目

小児科学

担当教員名 新田 初美	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

授業の概要

小児のリハビリテーションでは、子どもの成長・発達を理解し、日常生活・社会生活の中に生じる「様々な不便」に対し科学的に何らかの工夫をすることで「生活の質の向上」を図り、子どもの自己実現を支援することを目指す。小児科学では子どもの成長・発達、疾患、障害、子どもを取り巻く養育・教育・社会環境など多角的に理解し支援策をイメージできることを目的とする。

授業の目的

子どもの成長・発達に関する基本的な知識、子どもの疾患・障害の特性を学び、作業療法が介入できる病態を理解する。

学習目標

- 1 子どもの成長・発達について概説できる。
- 2 子どもの養育・発達の異常（疾患・障害）について概説できる。
- 3 子どもを支える養育・教育・社会環境の影響について学ぶ。
- 4 子どもの疾患・障害に対する作業療法の意義について学ぶ。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	小児の発育と発達	講義	新田 初美
2	新生児・未熟児疾患、先天異常と遺伝病	講義	新田 初美
3	神経・筋・骨系統疾患（二分脊椎/てんかん/脳性麻痺）	講義	新田 初美
4	神経・筋・骨系統疾患（発達障害）	講義	新田 初美
5	神経・筋・骨系統疾患（筋ジストロフィー/骨関節疾患）	講義	新田 初美
6	循環器/呼吸器/感染症/消化器疾患	講義	新田 初美
7	内分泌・代謝/血液/免疫・アレルギー/腎・泌尿器/腫瘍性疾患	講義	新田 初美
8	母子保健・心身医学的疾患・虐待・重症心身障害児	講義	新田 初美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	小児科学 第4版（標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野）	富田豊編	医学書院	2012年	4,200円+税	
参考書						
その他の資料	講義内で適宜プリント配布					

評価方法

授業出席（10%）、試験成績（90%）

履修上の留意点

解剖学、生理学等の基礎が習得されているものとして講義を行うので、よく勉強しておくこと。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に連絡する